

# ひょうごの主な歴史時代遺跡

神戸・兵庫の郷土史Web研究館資料: dt17rek.pdf



## 神戸

遺跡の名称	読み仮名	所在地	歴史時代	出土遺物など特徴
郡家遺跡	ぐんげ	神戸市東灘区御影町郡家	奈良、平安時代	奈良時代の大型掘立柱建物、土師器、須恵器、緑釉陶器片、灰釉陶器、中国陶器。弥生中期、古墳時代も。
滝ノ奥遺跡	たきのおく	神戸市灘区高羽字滝ノ奥	9世紀末～	掘立柱建物（9世紀末～11世紀）、土師器、須恵器、猿投窯（愛知県）産灰釉陶器、緑釉陶器。経塚（12世紀後半）、和鏡11、青白磁壺形合子2、印籠形合子3、白磁壺形合子、鉄製刀子8、神出窯産蓋付経筒、北宋銭「崇寧重宝」など、金銅製鳳凰文金具。火葬跡と墓14（13世紀～）、北宋銭。ピット多数。
宅原遺跡	えいばら	神戸市北区長尾町宅原	飛鳥、平安時代～	律令政府の郷衙？ 掘立柱建物、木棺墓、井戸。「評」の文字の墨書土器、円面鏡。日本最古の木彫面。祭祀異物。木棺墓（中世）から青磁・白磁の椀、墨書土器、呪符木簡、下駄、砧、鹿角、種子。縄文・弥生・古墳時代も。
吉田南遺跡	よしだみなみ	神戸市西区玉津町吉田、他	弥生後期～、奈良、平安、鎌倉	地方官衙的建物。掘立柱建物群（家屋15、倉庫12）、井戸跡。墨書や篋描の須恵器、土師器。緑釉陶器、灰釉陶器、瓦、陶硯、銅椀、銅製獣足、黒漆塗り金銅製帯金具。円形木製の車輪、木製刀子、木製鉢・皿。
神出窯跡群	かんで	神戸市西区神出町、他	平安後期～鎌倉前期	瓦・須恵器を焼成した窯跡、数10基。集落跡（掘立柱建物跡）、粘土採掘土坑。鬼瓦、軒丸瓦、平瓦、須恵器、窯道具、大型の甕、壺、椀、埴鉢（搗鉢）。
雪御所遺跡	ゆきのごしよ	神戸市兵庫区雪御所町、湊山町	平安後期～鎌倉前期	均整唐草文軒瓦。石垣。
勝雄経塚	かつお	神戸市北区淡河町	室町時代	銅製円筒形経筒、法華経全8巻。
楠・荒田遺跡	くすのきあらた	神戸市中央区楠町～兵庫区荒田町	平安時代	平氏一門の屋敷跡。二重壕、櫓建物跡、土坑。陶磁器、須恵器など。（神戸大学医学部付属病院構内）

## 阪 神

遺跡の名称	読み仮名	所在地	歴史時代	出土遺物など特徴
伊丹廃寺跡	いたみはいじ	伊丹市緑が丘4丁目・7丁目	奈良前期～鎌倉後期	法隆寺式伽藍配置。金箔付漆喰壁、塼仏。銅製の水煙、九輪、請花、刹管一部、風鐸。軒丸瓦、平瓦、複弁八葉花文軒丸瓦、土師器、須恵器。
旧清遺跡	もときよし	宝塚市売布きよしが丘	平安後期～近世	寺院跡。清荒神清澄寺の旧跡。基壇跡各種。軒丸瓦、平瓦、鬼瓦。塑像片、白磁椀、飾金具、石硯、土師器皿、瓦器の椀、羽釜、火舎、土師器、須恵器、緑釉陶器。
堂坂遺跡	どうさか	宝塚市大原野字堂坂	室町中期	古銭入りの古丹波壺、大量の埋蔵銭（「永楽通宝」等の北宋銭が全部で19万4825枚）。
満願寺旧伽藍遺構	まんがんじ	川西市満願寺字籬東	奈良？～平安後期	平安～室町の本堂建物跡。焼失建物跡、火葬墓、建物遺構。須恵器、土師器、瓦器、陶器、青磁椀、白磁椀、小刀、水晶製舎利容器、陶製花瓶、銅装花瓶。銅製品、鉄釘、銅銭、ガラス玉、水晶、硯、金箔片。
対中遺跡	たいなか	三田市対中町	縄文～	縄文以降。奈良時代の掘立柱建物、溝、井戸、木棺墓、土坑。土師器、須恵器、中国磁器、軒丸瓦、井戸跡から墨書土器。

## 東播磨

遺跡の名称	読み仮名	所在地	歴史時代	出土遺物など特徴
高丘窯跡群	たかおか	明石市大久保町大窪字高丘	6世紀末～奈良～7世紀中頃	古代の焼き物の里。瓦陶兼業窯跡20。半地下式登窯など。鴟尾片、素弁八葉文軒丸瓦、平瓦片、軒丸瓦、土馬の残片、陶棺、杯身、杯蓋、高杯、短頸壺、甕、ほそう、平瓶、椀、盤など。
魚住窯跡群	うおすみ	明石市魚住町中尾、他	12世紀末～15世紀	中世の須恵器の窯跡、52基以上。主に半地下式登窯で、直焰式平窯も。埴鉢、甕、壺、椀、小皿、瓦（軒丸・軒平・鬼瓦・平瓦等）。
久留美窯跡群	くるみ	三木市久留美字上野、他	9世紀～12世紀	平安後期の重要窯。15基以上の瓦陶兼業窯・須恵器窯。杯身、杯蓋、高杯、短頸壺、椀、盤、皿、甕などの須恵器。平瓦、軒丸瓦、丸瓦など。
広渡廃寺跡	こうど	小野市高鹿喜町・鹿野町・広渡町	白鳳～平安前期	薬師寺式伽藍配置。単弁葉軒丸瓦、鋸齒縁単弁九葉軒丸瓦、重弧文軒平瓦、唐草文軒平瓦、鴟尾、土製の螺髪、瓦塔。
繁昌廃寺跡	はんじょう	加西市繁昌町川西字山ノ脇	白鳳～平安前期	薬師寺式伽藍配置。単弁八葉軒丸瓦、忍冬唐草文軒平瓦、複弁十三葉軒丸瓦、平瓦、須恵器、土師器。
新部廃寺跡	しんべ	小野市新部町大寺	白鳳～平安前期	薬師寺式伽藍配置。掘立柱建物跡、竪穴住居跡。素縁単弁八葉花文軒丸瓦、忍冬唐草文軒平瓦。
殿原廃寺跡	とのらは	加西市殿原字寺ノ前	白鳳～中世	法隆寺式伽藍配置？ 単弁八葉花文軒丸瓦、重弧文軒平瓦、素弁八葉花軒丸瓦。

遺跡の名称	読み仮名	所在地	歴史時代	出土遺物など特徴
江ノ上経塚	ごうのうえ	加西市谷口町江ノ上	12世紀後半～13世紀前半	4基の経塚。銅製経筒から、無量義経・法華経・仏説観音普賢菩薩行法経・阿弥陀経の11巻。須恵器の甕・埴鉢（外容器）。方形素文鏡、神戸の神出窯製の須恵器甕、太刀、担当、合子、青白磁。
緑風台窯跡群	りよくふうだい	西脇市野村町字緑風台	平安末期、12世紀末	地下式窯。瓷器系陶器窯。四耳壺、片口鉢、甕、水瓶、把手付水瓶、刻文壺、小皿、瓦など。
金城池窯跡群	きんじょういけ	西脇市高松町字ドビ谷、他	10世紀中頃～12世紀	28基の半地下ないし地下式窯、須恵器の雑器窯。椀、片口鉢、甕、壺。
多可寺遺跡	たかであら	西脇市中町天田	7世紀後半	回廊の側溝。単弁八葉蓮華文軒丸瓦、単弁十二葉蓮華文軒丸瓦、単弁六葉忍冬文軒平瓦、複弁八葉蓮華文軒丸瓦、丸瓦、平瓦などの瓦類。青銅製の相輪片。
西条廃寺跡	さいじょう	加古川市神野町西条山手2丁目	白鳳末～奈良、平安初頭	法隆寺式伽藍配置。素文縁八葉蓮華文軒平瓦、鬼瓦片、銅製風鐸、丸輪、水煙。
札馬窯跡群	さつま	加古川市志方町字大沢・札馬	奈良後半、8世紀後半～平安後期	須恵器窯跡、33基以上。大半が半地下式登窯。蓋杯、高杯、盤、杯、瓶子、椀、鉢、壺、精花、伏鉢、瓦など。
石守廃寺跡	いしもり	加古川市神野町石守	奈良後期～平安前期	法隆寺式伽藍配置。素文縁八葉蓮華文軒平瓦、鬼瓦片、銅製風鐸、丸輪、水煙。細弁十六葉蓮華文軒丸瓦、三重圏文軒丸瓦、単弁八葉蓮華文軒丸瓦、重圏文軒丸瓦など軒丸瓦。軒平瓦、丸瓦、平瓦、風鐸、水煙、坑道製品（仏像宝冠の一部）。
太寺廃寺跡	たいであらはいじ	明石市太寺	白鳳時代	塔跡。土壇、礎石3。布目痕瓦。後の高家寺跡。
長坂寺遺跡	ちょうはんじ	明石市魚住町長坂寺	奈良、平安	古代山陽道の邑美駅家跡。
賀古駅家跡	かこ		奈良、平安～一部鎌倉	古代山陽道の賀古駅家跡。
久留美窯跡群	くるみ	三木市久留美	平安時代後期	瓦焼成専用の登窯（柳谷15号窯）。包み込み技法の軒平瓦。
林崎三本松窯跡群	はやしざきさんぼんまつ	明石市	平安後期・鎌倉～	登窯5。軒平瓦。
曾我井・沢田遺跡	そがいさわだ	多可郡多可町中区曾我井	奈良・平安・鎌倉	掘立柱建物跡、土器（安田荘の荘所跡？ 平安～鎌倉）。水路跡、祭祀用具、墨書土器（奈良時代）など。正倉院文書にも記録。

# 西播磨

遺跡の名称	読み仮名	所在地	歴史時代	出土遺物など特徴
辻井廃寺跡	つじい	姫路市辻井	白鳳～平安末期	法隆寺式伽藍配置？ 複弁八葉蓮華文軒丸瓦、播磨国府系瓦、鴟尾、小野川ら。奈良三彩土器、陶磁器類。木簡3、墨書土器、丹彩鉄斧、祭祀異物（斎串、ミニチュアの砵）。
本町遺跡	ほんまち	姫路市本町	8世紀前半～	江戸時代の城下町又は総社関連の遺構（17世紀初頭）。大規模な官衙。掘立柱建物、塀。土器、陶磁器類、瓦類、土製品、石製品、木製品、金属製品、ガラス製品など。珠文帯均整唐草文軒平瓦、播磨国府系瓦、鉄釘、古銭、銅椀。人形、木簡。
赤坂一号窯跡	あかさかいちごう	姫路市石倉字東山	8世紀前半	須恵器窯跡、約50基。瓦が従、陶が主の兼業窯。鴟尾、小型陶棺、複弁八葉蓮華文軒丸瓦など軒瓦、円面鏡。
播磨国分寺跡	はりまこくぶんじ	姫路市御国野町国分寺	平安末期	塔、南門、中門、金堂、回廊、築地の跡。土器、瓦類、金堂製水煙。単弁八葉蓮華文軒丸瓦、単弁十六葉蓮華文軒丸瓦、単弁十三葉蓮華文軒丸瓦、変形複弁八葉蓮華文軒丸瓦、播磨国府系瓦、鬼瓦、文字瓦。
小犬丸遺跡	こいぬまる	たつの市揖西町小犬丸	奈良、平安～一部鎌倉	古代山陽道の布勢駅家跡。礎石建物跡、掘立柱建物跡。須恵器、土師器、緑釉・灰釉陶器、越州窯青磁などの土器類。単弁十三葉蓮華文軒丸瓦、均整草文軒平瓦、播磨国府系瓦。製塩土器、磚、円面鏡、転用硯、墨書土器（「驛」「布勢」）、木簡、鳥形木製品など。
緑ヶ丘窯跡群	みどりがおか	相生市那波落矢ヶ谷・乳母ヶ懐	平安中期～後期	地上式窯、9基。椀、杯などの雑器、双耳壺、突帯椀、手付瓶。
落合遺跡	おちあい	赤穂郡上郡町		古代山陽道の野磨駅家跡。
豆腐町遺跡	とうふまち	姫路市駅前町	明治・大正	山陽鉄道開通（明治21年、1888年）の鉄道施設など（初代および2代目の転車台）。弥生遺跡も。
英賀保駅周辺遺跡	あがほえき	姫路市英賀保苦編地区	平安・鎌倉	洪水跡から唐三彩（弁口瓶片。平安時代？）。鎌倉時代の役所跡（苦編地区で掘立柱建物群）。屋敷墓。白磁。
市之郷遺跡	いちのごう	姫路市市之郷	飛鳥・平安	竪穴住居跡25を埋めて掘立柱建物（20）群、墓、溝、土坑。井戸跡。

# 但馬

遺跡の名称	読み仮名	所在地	歴史時代	出土遺物など特徴
水上遺跡	みのかみ	豊岡市日高町水上	8世紀～9世紀	掘立柱建物跡。但馬国分尼寺関連の単弁十六葉軒丸瓦、墨書土器、風学硯。縄文以降～。
祢布ヶ森遺跡	にょうがもり	豊岡市日高町国分寺・祢布	～9世紀	官衙的性格。掘立柱建物、溝状遺構、汜濫原。人形等の木製模造品、木棺、漆紙文書。縄文以降～。
但馬国分寺跡	たじまこぶんじ	豊岡市日高町国分寺・祢布	8世紀中頃	塔・金堂・中門・回廊・溝などの跡、大井戸。神護景雲年間（766年、768年）の記年の木簡36。単弁十六葉と八葉花文の軒丸瓦、均整唐草文軒平瓦、風鐸。
但馬国府関連遺跡	たじまこくふ	豊岡市日高町域	9世紀初頭	国府の遷移は延暦23年（804年）のこと。官衙的遺跡。「郷」の墨書土器、内面鏡。深田遺跡で、井戸、溝、柱根、公文書の巻物軸（題籤）。木簡、木履、檜扇、人形、馬形、鳥形、斎串、椀などの木製品。墨書土器、硯、緑釉陶器、灰釉陶器など土器類。刀子、帯金具、銅銭など金属製品。
田多地経塚群	ただち	豊岡市出石町田多地字中通り	平安後期、12世紀	墳墓5、経塚。箱式石棺に人骨、木棺直葬儀。青銅製経筒2、土師器製経筒1、法華経、鉄刀、鉄鍬、灯明用土師器、仿製内行花文鏡、勾玉、管玉、ガラス小玉。
砂入遺跡	すないり	豊岡市出石町袴狭	8世紀～9世紀	日本最大の祭祀跡。旧河道、溝、坑列、しがらみ。人形、斎串、馬形、舟形、鋤形、刀形、剣形、鍬形、曲物、折敷など大量の律令期の木製祭祀具。琴、独楽、火鑽臼。唐草文装飾容器。須恵器、土師器。田下駄、機織具、梯子など。
新宮山中世墓・経塚	しんぐうさん	養父市養父町十二所	平安末期、鎌倉～室町前期	火葬墓と直葬墓。経塚は平安末期のもの。鑄造銅製経筒。壺、鍋、甕などの骨蔵器。五鈷鉞、錫杖、銅銭。五輪塔石材、石仏、宝篋印塔。須恵器の甕、和鏡、小刀。
袴狭遺跡	はかざ	豊岡市出石町袴狭	平安時代	古代の役所跡（但馬国庁？出石郡衙？）。水路。礎石建物群、木製祭祀具、帯飾り、木簡、馬具、墨書土器、琵琶。
宮内掘脇遺跡	みやうちほりわき	豊岡市出石町宮内	室町時代	武家屋敷跡（掘立柱建物跡、根太建物跡、堀、土塁）。囲炉裏跡、二重堀。陶器類、金属製品、木製品。紀年銘木簡（永禄12年、1569年）。
柴遺跡	しば	朝来市山東町柴	奈良・平安	古代山陰道の粟賀駅家跡？ 駅家運営の木簡。貨幣（神功開寶）。
粟鹿遺跡	あわが	朝来市山東町粟鹿	奈良時代	古代粟鹿神社関連施設（建物跡群）と古代豪族の墨書土器。
長見寺廃寺	ちょうけんじ	城崎郡香美町香住区香住字長見寺	飛鳥、奈良	巨大柱（県内最大級）。鴟尾、軒丸瓦、土器、生活遺構。弥生遺跡も。
場市遺跡	ばいち	養父市養父町建屋	室町時代	建屋うすぎ城山裾の居館跡？ 池、州浜、鑓水、滝などの庭園跡。
定谷遺跡	さだたに	豊岡市久斗	奈良時代	役所跡。掘立柱建物群。馬形・曲物・挽物・下駄など木製品、石帯、「里官」など墨書土器。「田結里」など木簡。

## 丹波

遺跡の名称	読み仮名	所在地	歴史時代	出土遺物など特徴
山垣遺跡	やまがき	丹波市春日町 棚原字山垣	飛鳥・藤原 末期～奈良 前期	建物跡、柵列跡、濠。大量の土器群。須恵器、土師器の墨書土器（「春マ里長」）、木簡21、木器（容器類、木錘、横杵・堅杵などの農具、馬鍬）。
谷川生田坪遺跡	たにがわお いたつぼ	丹波市山南町 谷川字生田坪	8世紀、奈 良後半	和三彩小壺、古銭「和同開珎」5、纒瑠状銅片、土師質土器片、須恵器土器片。
三ツ塚遺跡	みつづか	丹波市市島町 上垣・三ツ 塚・上田	奈良～平安	三ツ塚廃寺、天神窯跡、古代集落跡（掘立柱建物、木棺土墳墓、土坑）。単弁八葉軒丸瓦、素文軒平瓦、重弧文軒平瓦、丸瓦、平瓦。二彩釉陶器、須恵器、四面鏡、墨書土器、刀子、鉄鈴。古墳時代も。
東浜谷遺跡	ひがしはま だに	篠山市東浜谷	奈良後半	古代山陰道の「長柄駅家」か郡衙か。「郡」の刻印のある蓋杯、高杯、壺、甕などの須恵器、土師器。内面鏡。墨書土器片（「厨」）。弥生後期も。
西木之部遺跡	にしきのべ	篠山市西紀町 東木之部	奈良～平安 鎌倉	集落跡（掘立柱建物、溝、土坑）、製鉄関連遺構、井戸。緑釉陶器、墨書土器、青銅製丸軛、内面鏡、銭貨等。弥生、古墳時代も。
竜円寺遺跡	りゅうえん じ	篠山市丹南町 の中寺前の 坪、他	8世紀中頃 ～9世紀	地方寺院跡？ 掘立柱建物3、溝。小鍛冶遺構の工房跡。小型瓦窯2。瓦廃棄土坑。重圈文軒丸瓦、唐草文軒平瓦。弥生後半～。
三本峠北窯跡	さんぼんと うげきた	篠山市今田町 下立杭	平安末期～ 鎌倉初頭	古丹波の窯跡。瓷器系（灰白色の素地に鮮緑釉）で、甕、壺、瓶、椀、鉢類。秋草文壺、
市辺遺跡	いちべ	丹波市氷上町 本郷	奈良、平安	集落跡（鎌倉時代）。掘立柱建物跡、溝、地鎮穴、墨書須恵器など土器類、採釉陶器、皇朝十二銭、青銅製の銅印。

## 淡路

遺跡の名称	読み仮名	所在地	歴史時代	出土遺物など特徴
谷町筋遺跡	たにまちす じ	南あわじ市西 淡町志知鉦字 アサカ	藤原～奈良 前期、室町	掘立柱建物跡、土坑、溝。須恵器、土師器、陶器、磁器（輸入磁器も）、土錘、瓦類、石鍋、鉄製鋤先、銭貨。
淡路国分寺跡	あわじこく ぶんじ	南あわじ市三 原町八木笑原 国分寺字堂の 後	奈良後半～ 平安初頭	本堂、金堂、基壇などの跡。線鋸歯文珠文縁複弁八葉蓮華文軒丸瓦、楕円珠文縁線鋸歯文縁均整唐草文軒平瓦、鬼瓦。
珉平焼窯跡	みんぺいや き	南あわじ市南 淡町	江戸、明 治、大正	珍しいコーカシ窯（乾燥窯）。陶磁器類や製品のための文様型、窯道具、タイ、花留など。
田井A遺跡	たい	淡路市志筑	飛鳥、奈良 ～鎌倉	水田跡（飛鳥時代）。役所か豪族の館跡？ 川跡、堰、須恵器大甕、木簡、木製祭祀具の人形（奈良時代）。炉など鍛冶工房跡（鎌倉時代）。

※参考資料：『兵庫県史・考古資料編』（兵庫県）、『ひょうごの遺跡』（兵庫県埋蔵文化財調査事務所、兵庫県立考古博物館）

※URL = <http://kdskenkyu.saloon.jp/kdsdata.htm>  
<http://kdskenkyu.saloon.jp/pdf/dt17rek.pdf>